

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

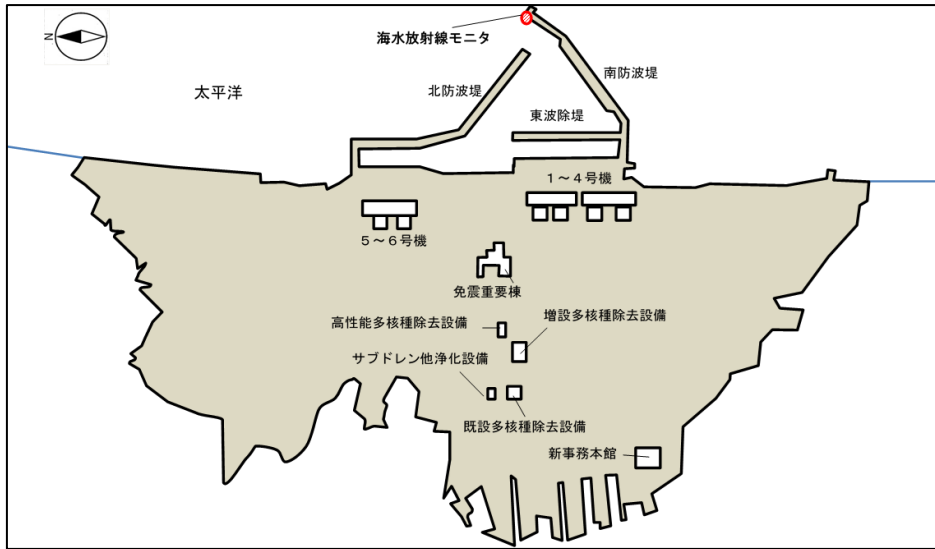
- 1 確認日  
令和4年1月26日（水）
- 2 確認箇所  
海水放射線モニタ（南防波堤港湾口）
- 3 確認項目  
海水放射線モニタの復旧状況

### 4 確認結果の概要

東京電力では平成26年に南防波堤の港湾口に海水放射線モニタを設置し、海水中の放射能濃度（セシウム134、137 全ベータ）を連続測定しているが、昨年7月15日に取水ポンプの故障により測定が停止する事象が発生して以降、設備の不具合が数回発生して測定停止が長時間に及んでいたことから設備の復旧状況を確認した。なお、現場確認は高波のリスクを考慮して、海水放射線モニタの近くまではいかず、東波除堤から行った。

（図1、写真1）

- ・東京電力によると、昨年7月15日の取水ポンプ（水中ポンプ）故障後、陸上ポンプの設置、防波対策板の設置、陸上ポンプの大型化及び採水ホースの浮き上がり防止対策（採水ホース先端への重し設置）などを実施し、1月17日に復旧させたものの、その後も、荒天時の波により採水ホースの先端が気中に露出したことによるものと判断される設備の停止が発生した。このため、1月25日に、採水ホースを重しを吊り下げたロープに固定する追加対策を実施して、海水放射線モニタの連続測定を再開したとのことであった。（写真2）
- ・新事務本館内の遠隔監視用端末パソコン等により、海水放射線モニタが正常に稼働しており、連続測定ができていることを確認した。



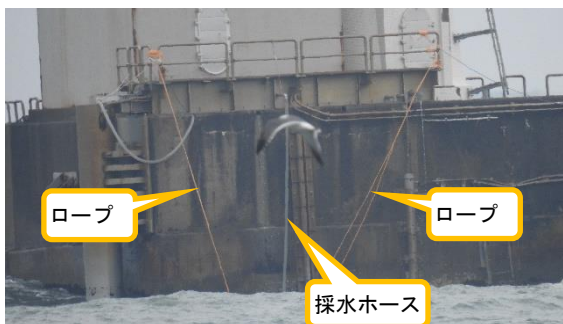
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
港湾の状況 (東波除堤から撮影)



(写真1-2)  
海水放射線モニタ建屋の状況  
(東波除堤から撮影)



(写真2)  
海水放射線モニタ採水ホースの状況  
(東波除堤から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。